

編集 後記

編集顧問 町田豊平
編集委員 郡健二郎

小川秋實 秋元成太 村井 勝
藤岡知昭 大家基嗣

病院が新築あるいは改装されると患者さんが増えるということは定説のようです。東京都渋谷区にある日赤医療センターも今年の1月に新築され、硝子張りの白亜の建物は日赤病院の総本山というべき威容を誇っています。泌尿器科部長の富田京一先生とお話する機会があり、尋ねてみたところ、確かに患者さんは増えているそうです。「広尾駅からは少し距離があり、坂を登らなければならないので、年配の患者さんには少しきついのではないですか？」と私が尋ねますと、「堀田坂のことですか？ あの坂はたいしたことはないですよ。先生、別所坂って知っていますか？ あまりに急な勾配で、車両通行禁止です。恵比寿駅から東京共済病院に行く途中にあるのですが、あの坂はキツイ」と富田先生はおっしゃいました。

皆様も気付いていらっしゃると思いますが、東京は至る所に坂があり、その多くに名前が付けられています。立て杭に名称のいわれが書いてあり、通りすがりに説明を読むと、江戸時代にタイムスリップした気がします。これまで私は、特別の関心を持って東京の坂を観察してきました。車が通れないほどの急な坂があるのなら、住んでいる人々が生活に困るであろうし、江戸時代でも土地の開墾が行われていたはずで、どうも納得がいきません。訪ねてみることにしました。

「このあたりにあるはずなのに」独り言を言いながらキョロキョロしていると、立て看板があることに気が付きました。近づいて読もうとしたところ、右手に

坂は現れました。急な勾配であるだけでなく、彎曲が強く、坂の下までの視界が開けません。私は吸い込まれるように坂を降りて行きました。道の幅は車1台が通れる程です。降りていくと、また逆方向に彎曲しています。さらに彎曲を繰り返し、坂の下に着いたところで、「車両通行禁止」の看板が立っていました。

目的は坂の観察ですから、すぐさま降りてきた坂を引き返して登りました。確かにキツイ。立て看板のあった坂の上に戻ったときには息が切れていました。ハアハア言いながら、立て看板を読みますと、かつてここから富士山がきれいに見えたそうです。江戸時代の探検家である近藤重蔵の屋敷跡でした。邸内に築山を作って新富士と呼んで観光スポットとしていたそうです。江戸に居ながらにして富士山を眺めて富士を参詣する。上手いアイデアを考えついたものです。労なくそれなりの収入を得ていたことでしょうか。こういうシチュエーションにありがちなことですが、隣家と利害関係でトラブルが生じ、近藤重蔵の息子の富蔵が殺傷事件を起こし、近藤家は一家断絶、富蔵は八丈島に流刑となったそうです。

平地だと思われがちですが、坂の多い東京。急傾斜の坂であればあるほど、印象に残ります。まわりに緑が多く、趣のある坂はおそらく江戸時代に大名屋敷があった所です。冒頭で話題に上った堀田坂もしかり。東京の坂は江戸の風景を現代によみがえらせてくれます。
(大家基嗣)

臨床泌尿器科 (第64巻 第9号) (通巻767号)
2010年8月20日発行 (毎月1回20日発行)

定価 2,835 円 (本体 2,700 円 + 税 5%)

2010 年 年 ぎ め 予 約 購 読 料 41,360 円
電 子 ジ ャ ー ナ ル 関 覧 オ プ シ ョ ン 付 53,800 円
増 刊 号 を 含 む 13 冊, 税 込, 送 料 小 社 負 担

発 行 株式会社 医学書院
代 表 者 金 原 優

〒 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
電 話 本誌編集室直通 (03) 3817-5709
(担当: 登・安部)
販 売 部 直 通 (03) 3817-5659・5660
フ ァ ク シ ミ リ (03) 3815-7802

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp
振替口座 東京 00170-9-96693 番
印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- 医学書院ホームページ (インターネット) は Web <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- 「臨床泌尿器科」のページは <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinpi/> です。
- 【JCOPY】<創出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(創出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。